

ときわぎ 学校評価臨時号(後期)

京都市立常磐野小学校
校長 岡博士

【学校教育目標】

「夢かなえる子の育成」



【目指す学校像】

- ◎ 「えがおいっぱい 夢かなえる学校」
- わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- 自分が認められ、安心して生活できる学校
- 信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- 家庭・地域と協働して教育活動を進める学校

【目指す子ども像】

◎ 「コツコツ努力 パチパチ拍手で のびのび育つ ときわのの子」

- | | |
|------|----------------------------------------|
| ときわの | 友だちも自分も大切にする子 (やさしい心をもち、いじめをしない、許さない子) |
| | きまりを守る子 (きまりや時間を守り、安全に気をつけて過ごす子) |
| | わかった、できたを目指す子 (めあてをもって、粘り強く学習する子) |
| | のびのびと元気な子 (規則正しい生活をして、力いっぱい活動する子) |

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。常磐野小学校では、毎年2回、保護者の皆様・児童・教員による「学校評価アンケート」を実施しています。第1回の学校評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

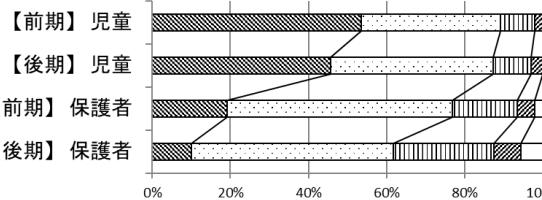
前期に引き続き、保護者の方には主にご家庭での働きかけ（一部は適合度やお子様の実現度）をご回答いただきました。また、児童は自分自身の振り返りを行いました。保護者の皆様から頂きましたアンケートや児童アンケートをもとに、本校の取組やこれからの方育てについて、学校教育目標の目指す子ども像や目指す学校像の視点から考察を行いました。

グラフについては、全て棒の左から◎(よくできている)、○(大体できている)、△(あまりできていない)、×(できていない)の評価で表しています。

確かな学力の育成について

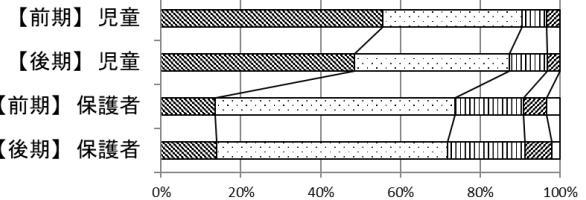
学習への意欲

■◎ □○ □△ ■× □わからない



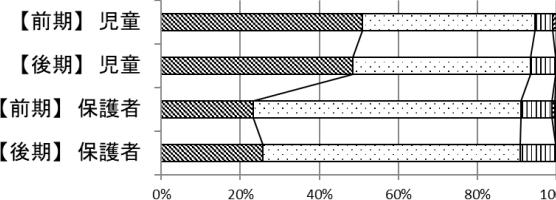
学習理解

■◎ □○ □△ ■× □わからない



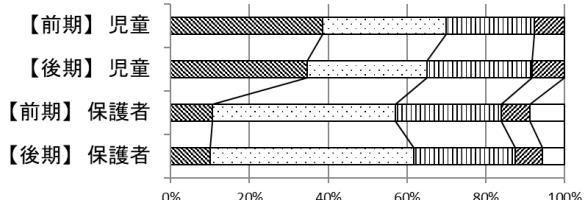
話の聞き方

■◎ □○ □△ ■× □わからない



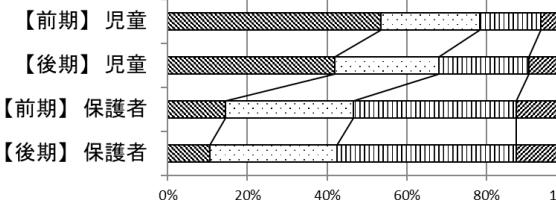
思いや考え方の発表

■◎ □○ □△ ■× □わからない



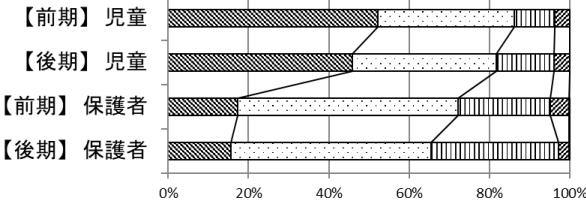
読書習慣

■◎ □○ □△ ■× □わからない



家庭学習の習慣

■◎ □○ □△ ■× □わからない

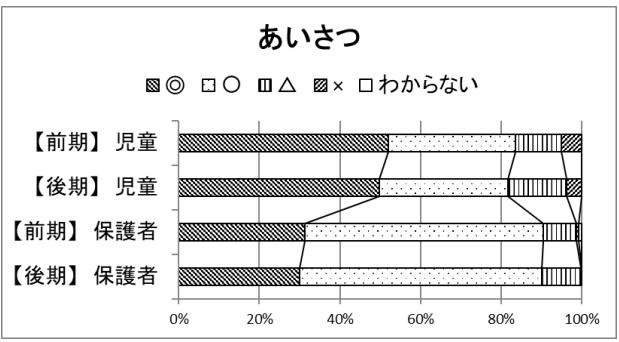
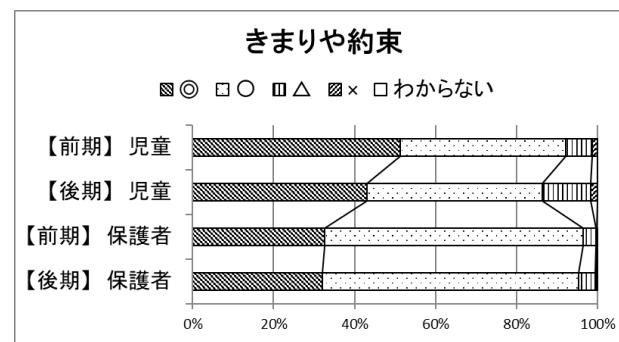
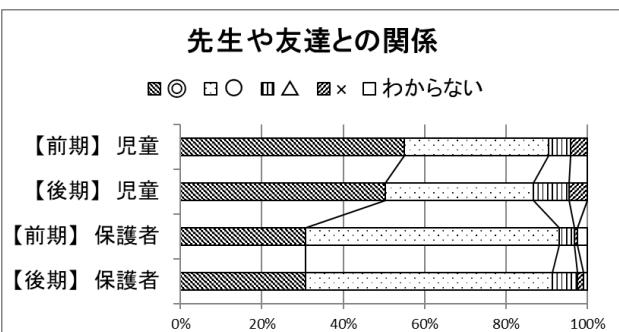
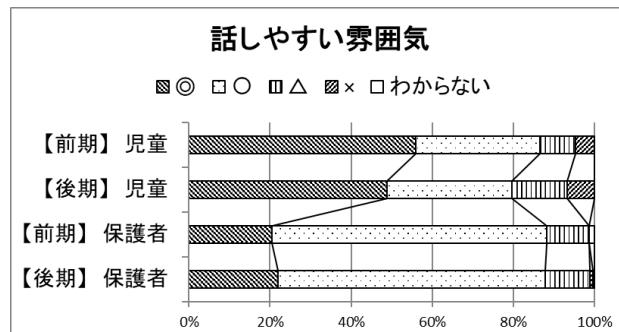


「確かな学力の育成」についての項目では、7月の調査結果を下回る項目が多くありました。継続した働きかけや子ども自身が達成感を実感できるような取組を進めていくことが必要だと考えています。

「聞く」項目では、児童と保護者ともに高い達成度になっています。家庭での働きかけや学校での指導が効果的に子どもに届いているように考えます。一方で「話す」については、「聞く」に比べて達成度が低くなっています。スピーチの活動を行う「ときわぎタイム」の取組が2年目を迎えて定着し、話し方や聞き方がその場面ではよくなっているので、その態度を通常の授業場面へつないでいく必要があります。

読書の習慣については、身に付きにくい実態があります。学校では地域の方による読み聞かせや図書委員会による本に親しむ活動、本への関心を高める選書会などに取り組んで読書への関心を高めようとしています。家庭学習の習慣については、年度はじめに「家庭学習の手引き」を配布して全校で家庭学習の取組を検討しています。学校でも継続した働きかけを進めています。

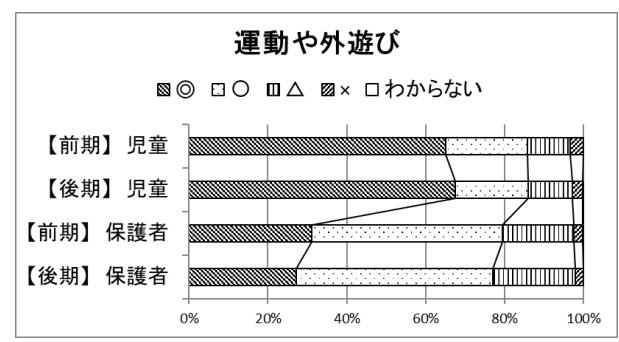
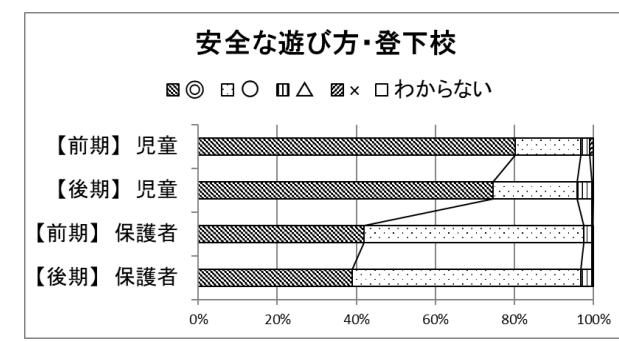
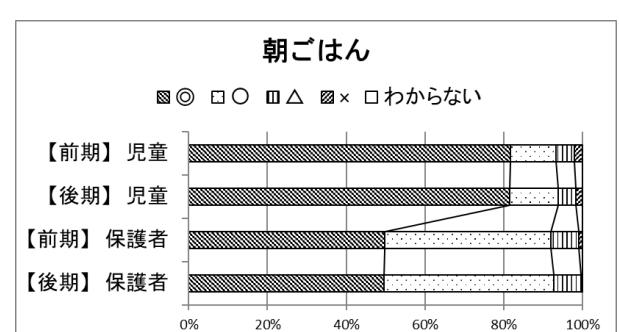
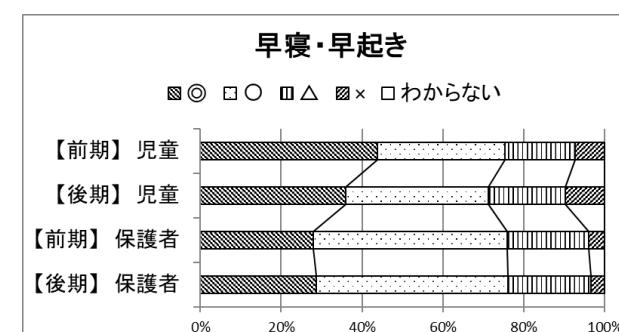
豊かな心の育成について



「豊かな心の育成」についても7月調査と比較すると肯定的な意見は減少しています。しかし、全体的には肯定的な回答の割合が高い状況です。「相談しやすい雰囲気」については、児童の肯定的な回答の割合が減少しています。学校としては積極的に改善していかなくてはならない内容だと考えます。保護者の方や児童がそれぞれの思いや考え方を話しやすい関係をつくっていけるように、教職員が丁寧に話を聞く姿勢をもつようにしていく必要があると考えます。

「きまりや約束」「あいさつ」については、保護者の方が積極的に働きかけてくださっている様子が分かります。学校でも「あいさつ」については、児童会によるよびかけや全校集会でのよびかけ、学級での指導で進んであいさつする態度を育てようとしています。「きまりや約束」についても教職員全体で「学校のきまりや約束」を確認する機会を設けています。

健やかな体の育成について

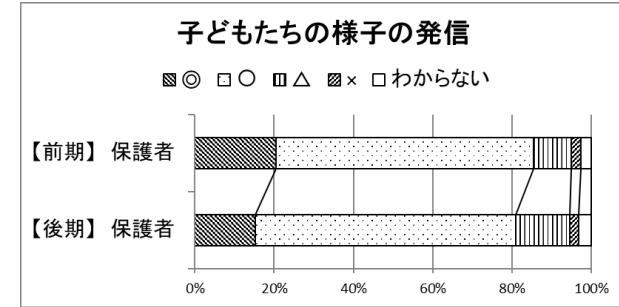


「健やかな体の育成」は、家庭、地域、学校の協力が必要になります。「早寝・早起き」については、保護者の方が継続的に取り組んでくださっている一方で児童の回答が否定的になってきています。規則正しい生活の大切さの指導を学校でも続けていく必要があります。安全な遊び方・登下校については肯定的な回答の割合が高くなっています。地域やPTAの継続した見守り活動が子どもの安全への意識を支えていると考えます。

「外遊び」については、学校での全員遊び縦割り活動などにより、多くの児童が楽しみにしています。学校で休み時間を長めに設定するなどして、十分に外遊びに親しめるようにしています。

「健やかな体」は「心の成長」「学力の伸長」を支える大切な要素になります。引き続きご協力をお願いします。

児童の様子の発信について



情報の発信については保護者の方のホームページやおたよりなどで子ども達の学校生活の様子を更に発信していくほしいという自由記述欄への回答が数点ありました。学校の取組に関心をもっていただいていると受け止めて、子ども達の活躍の様子を発信していく努力を続けてきます。

自由記述より抜粋

後期のアンケートということもあり、「1年間ありがとうございました」というお言葉も多くいただきました。学校の取組にご理解とご協力をいただき感謝しています。自由記述の内容を数点お伝えします。

○学習とともにみんなで気持ちよく学校生活を送ることができるようにマナーについてもさらに指導をすすめてほしい。
→授業がさわがしくなり、学習に集中できない状況になっていることがあるのではないかというご指摘から子ども達が落ち着いて学校生活を送ることができるような指導を大切にしてほしいというご意見でした。それぞれの学級で起こっていることについては、担任だけでなく学校組織として対応していくようにしています。担任と一緒に指導の仕方を考えたり、補助の教員が入って一緒に指導したりして落ち着いた中で安心して学校生活が送れるように取組を進めています。

○子どもの学習の定着の様子を確認してほしい。教材を効果的に使ってほしい。
→子どもが十分に理解できていない状況の中で授業が進み分からずになっていたり、預り金で購入しているはずの教材が効果的に使われていないような様子があつたりすることについてのご指摘でした。また、先生の言葉かけ一つで子どもの様子が大きく変わることも記述されていました。学校の中核となる学習のことです。教職員一同、真摯に受け止めて改善を図っています。